

地区だより

…………… 令和3年11月1日発行

ちゅうおう

<地区人口と世帯数>

男 19,097人 女 20,610人

計 39,707人

世帯数：20,998世帯

(10月1日現在)

2021

11月号

市からのお知らせ

【編集発行】

福島市役所広聴広報課

〒960-8601 福島市五老内町3-1

☎525-3710 ㊟536-9828

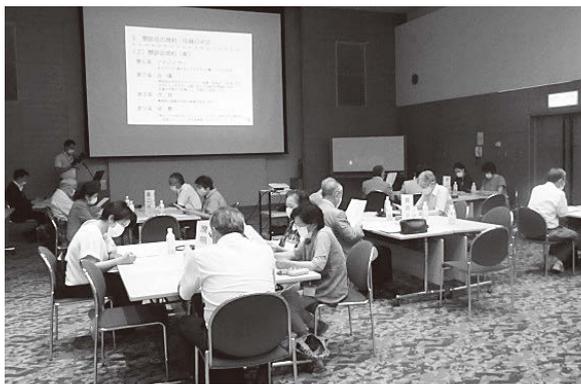
懇談会の設立で「ふくしま共創のまちづくり計画」を推進します

令和3年1月に策定した「ふくしま共創のまちづくり計画(※1)」の推進を図るため、中央東地区、中央西地区でそれぞれ、計画推進懇談会(以下、懇談会)が立ち上がりました。

この懇談会では多種多様な視点を取り入れ計画の推進を図り、地区のみなさんで個性と魅力あふれる地域を築いていきます。町内会長、各種団体の方々だけでなく、区域外からの移住者や学生など男女を問わず参加いただき、今年度の活動がスタートしました。

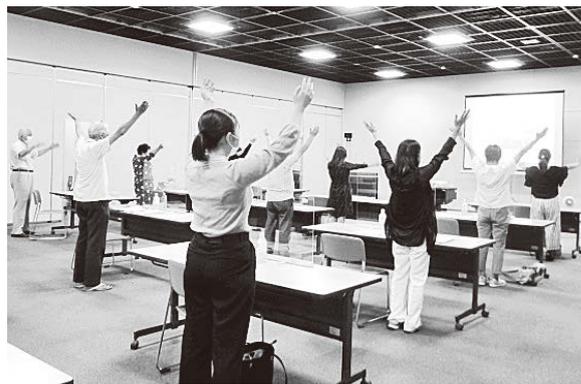
■問/地域共創課 ☎525-3731

【中央東地区 7月16日 設立】



女性参加率 59%

【中央西地区 8月12日 設立】



女性参加率 61%

(※1)個性と魅力あふれる地域を目指し、地域の皆さま、行政、団体の方々が連携しながらまちづくりを実践する計画として市内18地区(中央東・中央西および16支所単位)で策定。

取り付けていますか？ 火災からあなたの命を守る住宅用火災警報器

平成23年6月1日からすべての住宅に住宅用火災警報器の設置が義務化されています。万一、火災が発生しても、住宅用火災警報器があればいち早く火災を知ることができます。火災が発生しやすい時季に向けて住宅用火災警報器の設置・点検をするようにしましょう。住宅用火災警報器に関するご相談は、お近くの消防署までお問い合わせください。

■問/消防本部予防課 ☎534-9103 福島消防署 ☎534-9105

■令和3年6月1日時点の設置率(総務省消防庁)

	全国	福島県	福島市
設置率	83.1%	78.9%	76.0%
条例適合率	68.0%	57.1%	50.0%

※設置率：市町村の火災予防条例で設置が義務付けられている住宅の部分のうち、1箇所以上設置されている世帯の全世帯に占める割合

※条例適合率：市町村の火災予防条例で設置が義務付けられている住宅の部分全てに設置されている世帯の全世帯に占める割合

■住宅用火災警報器は10年を目安に交換を

設置時期は、住宅用火災警報器を設置したときに記入した設置年月か、本体に記載されている製造年を確認してください。

10年が経っていても、故障などの場合は交換が必要です。



◀詳しくは市ホームページをご覧ください

New



Old

中央学習センターからのお知らせ

【編集】福島市中央学習センター
〒960-8018 福島市松木町1番7号
☎534-6631 ☎533-7592

第52回 中央地区文化祭 開催!!

利用団体の方々の作品展示、普段練習している芸能の成果を動画放映、主催事業の各作品展示をしております。

◇と き 11月6日(土)～11月13日(土)(9日(火)を除く) 午前9時～午後5時30分

※毎日10時、13時から動画放映しています。

◇ところ 中央学習センター ◇主催 第52回中央地区文化祭実行委員会／福島市中央学習センター



受講生募集！参加してみませんか？ ※受付時間は午前9時～午後5時45分まで(火曜日・祝日は除く)

ふくしま花のまちづくり事業 花のまちガーデニング教室 「冬花の寄せ植え」

- 日時 12月11日(土) 午前10時～正午
- 場所 中央学習センター 2階ホール
- 対象者 中央地区在住・在勤の方
- 定員 15名(先着順)
- 参加費 1,200円
- 講師 あとりえ・悠然
代表 五十嵐 和恵氏
- 内容 冬花の植え方や手入れの仕方など、実際に寄せ植えを体験し、冬のガーデニングの基礎知識を学びます。
- 持ち物 ゴム手袋、移植ベラ、寄せ植えお持ち帰り用の袋、汚れてもよい服装(エプロンなど)
- 申込み 11月17日(水)～12月1日(水)
11月18日(木)より電話受付。

中央家庭教育学級

0歳児コース カンガルー教室(後期)

令和3年1～6月生まれのお子さんと保護者

1歳児コース ペンギン教室(後期)

令和2年1～6月生まれのお子さんと保護者



こちらより
お申し込み
ください

各コース共通(全8回)

15組 500円(保険料・材料費含む)

11～2月の主に木曜日

午前10時～正午

☆親子で体を動かしたり

、音楽に触れたり

しながら、楽しく学

習します。ぜひご参

加ください！



人形劇

親子書き初め教室

冬休みになると、学校から「書き初め」の課題が出されることでしょうか。自分だけでは思ったように書けない人、もっと上手に書きたい人のためにお手伝いをします。親子で書き初めに挑戦してみませんか！

○日時 12月24日(金)

午前10時～ 小学1年生

午後1時～ 小学2年生

12月25日(土)

午前10時～ 小学3年生

午後1時～ 小学4年生

12月27日(月)

午前10時～ 小学5年生

午後1時～ 小学6年生

※各学年それぞれ約2時間

○場所 中央学習センター 2階ホール

○定員 各学年親子で12組(先着順)

※詳しくは、後日小学校から配布される「親子書き初め教室」募集チラシをご覧ください。

デジタル活用支援推進事業 シニア向けLINE(ライン)入門講座

- 日時 11月26日(金) 午後2時～3時30分(予定)
- 場所 中央学習センター 2階ホール
- 対象者 スマートフォン(「らくらくフォン」や「iPhone(アイフォン)」・「その他のスマホ」など)を持っている中央地区在住のシニア世代(高齢者)の方。
12名(先着順)
- 参加費 無料 ※講座で使用する通信料は自己負担となります。
- 講師 ㈱コネクショより
- 内容 LINE(ライン)の使い方・他
- 持ち物 持っているスマホ・筆記用具など
- 申込み 11月4日(木)～18日(木)
11月6日(土)より電話受付



ICT活用セミナー 初めてのタブレット講座(Android OS編)

- 日時 1回目：11月29日(月) 2回目：12月6日(月) ※全2回
1・2回目とも午後1時30分～4時(予定)
- 場所 中央学習センター 2階 第1講義室
- 対象者 中央地区在住の一般成人の方で、初めてタブレットを使用してみたいと考えている方。1回目・2回目の両日参加可能な方。
- 定員 12名(先着順) ○参加費 無料
- 講師 福島シニアネット(協力：福島県中央計算センター)
- 内容 「初めてのタブレット」を使いタブレット体験をします。
・基本的な操作の仕方、地図の表示、写真撮影、便利機能など
- 持ち物 筆記用具等
※使用する「タブレット」は講師側で準備します
- 申込み 11月4日(木)～21日(日) 11月6日(土)より電話受付

令和やさしい地元学 信夫野・歴史の細道 第8回 会長：紺野義行氏

ふくしまけん歴史の案内人の会
(元福島県遺跡の案内人の会)

会長：紺野義行氏

到岸寺と大仏

昔、福島市は「大仏の里」と呼ばれた。

中世には福島市の中心部は、杉目郷(すぎのめごう)と云われ、大仏が安置された杉目寺を囲んで城郭ができ、佐藤庄司の武将杉目氏がいた。大仏は杉目大仏とよばれ、この里の鎮守(ちんじゅ：その地域を災害から守る神)として奉られた。

「福島市史」1は「福島城相伝」を引用して、杉妻大仏の縁起を次のように記している。

「杉妻山杉妻大仏は、天平年中(奈良時代)、僧行基(ぎょうき)が建立した遺跡で、里人に仇なす杉の巨木をもって刻んだ大日如来(※真言宗の本尊)の大仏を安置した。以来、風土開けて人びとが住みつき「大仏の里」と名づけられた。大仏は杉ノ妻(め)の鎮守として45カ寺の子院をもつ大寺で、昔は七宝荘嚴の寺であったという。後にこの杉妻寺をかこんで城郭ができ、城主杉目太郎行信がいた。以来大仏城、一名杉目城といわれた。」

中世末の慶長5年(1600)の奥州の関ヶ原といわれる「松川合戦」で、郭内大日堂および大仏が破損した。そこで城代本庄繁長は大日堂を良憲上人(しょうにん：知徳を備えている、すぐれた僧)に与えることにしたが、上人の宗門浄土宗の本尊ではないので、改めて福島城大手門の北の土地を与えられて寺を創建、究竟山一乗院到岸寺(くきょうざんいちじょういんとうがんじ)と名づけたと伝えている。元和2年(1616)到岸寺を大町に移す際に、浄土宗の本尊は阿彌陀如来なので、大日如来像は信夫山の小山荒井字大日堂に安置し、大町では胎内仏を草庵(そうあん：草びきの家)に安置した。その後宝永年中(1704～1711)京都から大日の大仏を移し、享保4年(1719)信夫山公園内の愛宕山に大仏殿を建てこれを祀った。寺では、杉妻大仏の胎内仏を秘仏として宝庫にまつてきたが、明治14年(1881)の福島大火で焼けてしまい、到岸寺再建時にあらためて大日如来を移して安置した。

到岸寺は並木通りの中ほどにあり、ここに木造の巨大な大日如来坐像が安置されている。像の高さは235cmあり、福島市の坐像の仏像では最大である。



到岸寺大日如来坐像

新型コロナウイルスの影響により、講座の内容が変更・中止になる場合がございますのでご了承ください。